

第5回 田植えした田んぼが黄金色！稲刈り体験

月 日：令和4年10月11日（火）

場 所：三重大学附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附属施設農場
（三重県津市）

参加者：三重県津市立 大里小学校 5年生32名

6月7日に田植えをした田んぼで5年生の児童32人が、総合的な学習の時間に稲刈り体験をしました。三重大学の先生から鎌を使った稲の刈り方と注意事項の説明を受け、指を切らないように親指を上向きにして稲をつかんで刈りました。



子供たちからは、「お米の消費が減り続けるとどうなるの？」など質問があり、大学の先生から「消費が減ると農業としての米作りが衰退して、食糧危機につながりかねない。」など丁寧に回答いただきました。



稲の株元をつかんで刈りました。



鎌での稲刈りの後、コンバインに乗る体験もさせていただきました



農場にある脱穀機の使い方も教えてもらいました



脱穀機を使って、稲から粃(もみ)が取れました

～子供たちの様子～

鎌を使った昔ながらの稲刈りを体験した子供たちからは「思ったよりも腰が痛くなって大変さがわかった。」「コンバインで刈るとすごく早く作業が終わって、機械のすごさを実感できた。」などの声が聞かれました。

～先生から一言～

「子どもたちがお米作りやその課題について考えるきっかけとなりました。普段体験できないことを体験できる機会をいただけて大変ありがたかったです。」（担任）